

西脇市総合計画審議会会議録

会議名	第7回 西脇市総合計画審議会		
開催日時	平成25年2月1日（金） 「 開会 18時00分 」 「 閉会 18時50分 」		
開催場所	西脇市役所特別会議室		
議長氏名	中川幾郎		
出席者氏名	別紙名簿のとおり（16名）		
欠席者氏名	別紙名簿のとおり（2名）		
会議事項	1 議題 1 会長あいさつ 2 会議録署名委員の指名 3 議事 (1) 後期基本計画（案）に係る市民意見聴取（パブリック・コメント）の実施結果について (2) 西脇市総合計画・後期基本計画の策定に係る答申について 4 その他 (1) まちづくり市民アンケートの調査結果報告書について (2) 今後の予定について (3) その他	2 会議結果 ・議事(1)については、報告し、了承 ・議事(2)については、後期基本計画（案）の採決を行い、委員全員が賛成したので、審議会からの答申を原案どおり決定 ・まちづくり市民アンケート調査結果報告書を配布	
会議の経過	別紙のとおり		
会議資料	・会議次第 ・会議資料 ・別冊「西脇市総合計画・後期基本計画」（案） ・別冊「市民アンケート調査結果報告書」		
会議録の確定			
確定年月日		署名押印	
平成25年2月18日		署名委員 吉田 光一郎 印 尾田 博明 印	

総合計画審議会委員出欠者名簿

区 分	氏 名	出 欠	備 考
会 長	中 川 幾 郎	出席	
副会長	竹 内 泰 彦	出席	
〃	細 井 雅 代	欠席	
委 員	片 岡 道 子	出席	
〃	亀 岡 澄 子	出席	
〃	斎 藤 太 紀 雄	出席	
〃	笹 倉 幸 代	出席	
〃	篠 原 邦 子	出席	
〃	藤 井 篤 史	出席	
〃	藪 根 隆	欠席	
〃	直 田 春 夫	出席	
〃	大 前 道 廣	出席	
〃	勝 岡 めぐみ	出席	
〃	中 野 眞 理 子	出席	
〃	藤 原 幸 子	出席	
〃	吉 田 光 一 郎	出席	
〃	尾 田 博 明	出席	
〃	多 井 俊 彦	出席	

事務局出席者名簿

職 名	氏 名	備 考
ふるさと創造部長	吉 田 孝 司	
企画政策課長兼行政経営室長	高 田 洋 明	
企画政策課主査	萩 原 靖 久	
企画政策課主任	板 場 逸 史	

◎第7回総合計画審議会会議録

発言者	記 事
会長	<p>○会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員16名が出席しており、条例に規定する定足数を満たしている ので、会議は成立していることを報告する。
会長	<p>○会議録署名委員の指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田委員と尾田委員を指名
事務局 会長 委員	<p>○議 事</p> <p>(1) 後期基本計画（案）に係る市民意見聴取（パブリック・コメント）の実施結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・意見・質問聴取 ・西脇市でパブリック・コメントを実施した場合、意見提出が1 件もない例は多いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・案件によって提出意見数は異なる。多い場合であれば、十数件 となるものもあるが、今回のように全く意見提出がない場合も ある。パブリック・コメントの実施の周知については、広報と ホームページを通じており、これについてはどの案件も共通で ある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。
事務局 会長 会長	<p>(2) 西脇市総合計画・後期基本計画の策定に係る答申について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・意見・質問聴取
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・あえて付け加えて言う必要はないが、答申文で述べられている 内容については、この審議会委員のみなさんが発言していただ いたことを要約して、項目ごとに整理したものであると理解 してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・答申にある「自治体政府」という言い方は、目新しいものなの か。あまり聞かないが、よく使われる言葉なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画案の第8章「市民起点の行政経営」の部分でも使って いる。その現状と課題の中で「地方分権の進展を踏まえ、地域 政策を積極的に立案、実行できる自立した自治体政府の確立が 求められています」と示しており、注釈に「自治体政府」の説 明として、「地方分権が進展する中、地域の実情を踏まえなが ら、主体的に経営を行う自治体の統治機構をいう。連邦制国家 における中央政府に対する独立した地方政府のようなイメージ とは違い、憲法に規定する地方自治の本旨に基づき、統治を行 う」と記述している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に何か発言はあるか。特に無いようなので、これまで本日を 含め、7回の審議会では計画案の内容について協議を行い、本日

	<p>後期基本計画の答申内容も固まったので、ここでお諮りする。本審議会において、西脇市総合計画・後期基本計画を決定し、市長に対し、別紙のとおり答申を行うこととしてよいか。賛成の方は挙手をしていただきたい。</p> <p>◎採決（全員賛成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員に挙手いただいた。よって本案を後期基本計画として市長に答申する。
事務局 会長	<p>○その他</p> <p>(1) まちづくり市民アンケートの調査結果報告書について</p> <p>(2) 今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・意見・質問聴取 ⇒意見等なし。
会長	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事は無事終了した。昨年の7月2日の第1回審議会から7か月間にわたり、あわせて7回の審議会では、委員の皆様には熱心に御協議、また御協力いただき、順調に進めることができたと感謝している。最後の審議会に当たり、委員の皆様はこの計画の実現に向けての思いや、これまでの審議会などをふり返っての感想などを順番に一言ずつお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間、この審議会に参加してきたが、私自身も非常に勉強になった。西脇市の総合計画の策定に携われたことを光栄に思っている。突出して他の地域と違うものがある、特に目新しいことは無いような気がするが、しっかりとした計画ができたことはよかった。もう少し西脇市が他の地域にはない特色あるまちづくりができればと思うが、それには市民の気持ちや機運の盛り上がりも必要になるので、私自身も含めて一人ひとりがまちづくりに頑張っていく気持ちが必要である。こうしたどっしりとした土台の計画があつてこそ進められることであると思うので、その策定に携われてよかったと感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会に参加しながら、また在職中にも思っていたことであるが、行政で建物を作った場合には、そこで利益を生んでいくことが必要である。また、公務員はサービス業であるということの意識を持たないといけない。審議会では、西脇市の情報発信は弱いということも言われていたが、防災行政無線の放送を聞いたり、広報を見ていると、前向きに頑張っていると感じる。 ・しかし一方で、市民アンケートの結果は真摯に受け止めなければならない。職員、そして市民が取り組んでいかなければなら

委員	<p>ないことが、数多く書かれているように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで西脇市に住み続けたいと思う人が70%もいることには感動する。暮らしやすいまち、まちを愛している気持ちが出ていると思うが、一方で、働く場所がなく、働く場が充実していると感じる市民はわずかに16%である。こうしたところに今からの課題が出ている。 ・私の住む重春・野村地区は市内の中で、もっとも人口が多い。市の人口を減らさないように、住み続けたい西脇市となるよう市役所の職員にも営業マンとして、株式会社西脇市というイメージを持ち、今後の施策を進めてもらいたい。そして、絶対に民営化してはいけないものもあるので、市はその辺りのことはよく考えて進めていただきたい。市民も市に協力していかなければいけないと審議会やアンケートを通じて思った。 ・前半は欠席が多くなり、迷惑をかけた。委員の間で市を良くしていくために熱心な意見が交わされているのを聞いて、そうした人が増えていけばよいと思った。私は子育てのボランティアをしているが、若い母親たちもいろいろ考えて行動しており、そうした人たちがもっと増えていけば良いと思う。この後期基本計画が委員の意見を反映して、上手く進んでいくことを願っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画策定の審議会に参加していないので、それとの整合性はわからないが、7回全ての審議会に出席した。初めて計画を見たときには字数が多く、難しく、理解しがたい文章が多くあると思った。役所の仕事であると思うが、もう少しわかりやすい言葉で説明をしてもらいたい。それは仕方がない部分もあるのかもしれない。 ・本日アンケート調査結果の報告書をいただいたが、この中の自由意見に市民の本音が詰まっていると思う。建設的な意見がどれだけあるか不明であるが、ぜひ行政の方にはこれを読んでいただきたい。3千人にアンケートを配って、統計をとったというだけでは何も残らない。自由意見こそが大切であると思うので、その反映に努めていただきたい。この4月からの計画の進展を我々も楽しみに見守っていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は何もわからないまま、この審議会に参加し、勉強させていただいたが、ありがたく思う。最近は新聞の見る面も違ってきて、政治的な面にも興味を持つようになってきた。計画案に目を通すと、難しく、嫌にもなりながら現在に至っている。福祉の仕事をしている傍ら、誰もが安心して住みやすいまちにしていくために力を入れていきたい。これまでのことについて感謝申し上げる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は何もわからないまま審議会に出ていたが、少しずつ分かるようになってきた時に、自分が行っているボランティアと審議会の日程が重なり欠席が続き、迷惑をおかけしたことをお詫びする。みなさんに慎重に協議を進めていただいたことをありがたく思う。西脇市のために勉強をさせていただいたことを誇りに感じる。 ・市民アンケートについては、もう少し回答率を、60%程度まで回収していただければ、もっと市民参加につながると思う。今は少し低いように感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・良い総合計画ができたと思う。この審議会でのみなさんの議論や質問をベースにしながら、出来上がっていったと思う。行政の人だけでは、一方からの視点になるので、委員が上手くバランスよくなるよう意見を出して、非常に幅広い、多様な視点からの計画に仕上がったと思う。そのことは非常に大きな成果である。今後の予定として、先ほど事務局からの説明にもあったが、計画を育てていくための市民会議も立ち上げられるようなので、そこで大切に育てていてもらいたい。 ・今の時代、人口推計をみても将来的に減っていき、少子高齢化も進むので、決して華々しい計画ではないかもしれない。しかし、そういう状況の中で、西脇市が生き延びていく、それも単に苦しんで生きていくのではなく、素晴らしい地域社会を創っていくための施策を足下からきちんとやっていくことが大事である。例えば、地域の自治をどのように進めていくのかということについて、協働で進めていくのか、市民がもっと参画していくのか、などがあるが、市民の力を生かしていくことがこの計画の基調になっているのではないかと思う。これからの地域自治のあり方は、それに徹していくしかないのではないか。 ・計画の文字数は多いが、行政が息をのむようなことも多く書かれている。この計画を実現していくためには、厳しい部分も多くあるのかもしれない。それぞれの担当課が計画の担当する部分を切り取り、目の前に貼って、政策づくりの参照にする、また、今実施している施策について、計画にこのように書いてあるのであれば、それに基づいて、もっとやってみようとか、どんどんチャレンジしていくようになればよいと思う。非常に丁寧で作ってあるので、一般市民の方から見ると理解しにくい部分もあるかもしれないが、こういう社会になってほしいというみなさんの願いを政策や施策として表せば、これぐらいの量になると思う。行政も頑張り、市民も見守って、後ろから支えていただきたい。それも協働で、市民ができることは市民で、地

<p>委員</p>	<p>域でできることは地域で、一緒になって計画の実現に努めていただくと良いまちになるのではないかと期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は4月に開催される乙武洋匡氏の講演会の整理券を求め、朝に市街地まで出て来て、また夜に審議会ということやって来た。初夏の7月から寒い2月まで審議会委員を務めさせていただいたが、自治基本条例の検討も並行していたため、終盤は頭が混乱した時期もあった。そして自治基本条例も無事制定され、喜んでいる。この後期基本計画の策定に携わった委員として、先ほどの委員の発言にもあったが、私たちも市政に目も向け、その推進に取り組んでいきたいと思う。自助・共助・公助の実動を市と共々進めていくことが大切であると考え。 ・もう1点、行政の方をお願いがある。先ほど委員から行政はサービス業であるとの発言があったが、とにかく職員のみなさんは笑顔であいさつのできる行政マンであってほしいと思う。昔から行政の人は苦虫をかみつぶしたような顔の人が多くという印象があり、最近はずいぶん変わって来たかなとも思うが、市民とともに、笑顔であいさつのできる西脇市でありたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は何が何だかわからないまま参加したが、最初の審議会のあいさつで「わくわく、どきどきしている」と言った。結局、最後まで勉強不足で、思ったとおりの意見が言えず、発言してもちんぷんかんぷんな面ばかりであった。私は西脇市で生まれ育ったわけではなく、市外からやって来たが、出身地で育ってきた期間以上に西脇市民として過ごしてきた。今回の委員を通じて、西脇市のことをこれほど考えたことはなかったので、そういう意味では大変勉強になった。もっともっと西脇市のことが好きになりたい、そういう気持ちが湧いてきた。 ・審議会で委員をしていることや総合計画というものがあることを同じ世代の友達に話したが、やはり主婦は世界が狭いのか、市政に関しては「何それ？」という人が多い。私がここに参加し、学んだことを少しでも伝えていければ、変わっていくのかなと思っている。何もしないよりは良いと思っている。 ・日頃は介護の仕事と障害者のボランティアをしているが、社会を少しでも良くしていこうという動きの中で、行政にはこれまで要望をしてきたが、行政はいつも「予算がない」と言うばかりで、マイナスイメージを持っていた。しかし、審議会では毎回多くの資料の準備をしていただき、大変な作業を一生懸命にさせていただいたと思う。私は席を温めるしかできないので、心苦しい気持ちであったが、みなさんが笑顔で迎えてくださったので、ここまで居ることができた。これからは私自身ができることは何かということをお自分のこととして考えていきたいし、

委員	<p>審議会では自分の意見を整理して話すことは難しかったが、委員のみなさんの意見や視点は非常に勉強になった。参加できたことを感謝したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も審議会に参加して、勉強不足もあり、文書の理解もなかなかできなかつた。大した意見も言えず、終わってしまったという思いであるが、一人の市民として、これから何か市を盛り上げるための手伝いができればと思う。私は現在孫育てをしているが、計画にもあるように、なかなか若い母親たちが満足できる環境がないので、おばあちゃんの知恵として、いろいろな意見を出していきたい。微力だが、多くの方と一緒に頑張っていきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会とは何か、という思いを持ちながら委員を引き受けた。何人かの委員が同じような思いであったので安心したが、総合計画というものがこのような形で作られているとは、一切知らなかつた。総合計画を知っている市民は、わずかに 4.8%であり、ほとんど知られていない。女性では 2.9%とさらに低く、知らない人が大半であることがアンケート結果からもわかる。総合計画の内容について、アピールすることが必要である。広報に今までも掲載されていたとは思いますが、今回審議会委員をして目を通すと、こうした情報はきちんと掲載されていることがわかつた。しかし、今まではそういう目を持っておらず、素通りしていた。もう少し市でもアピールすることに力を入れてはどうかと思う。 ・総合計画というものがあつて、その下に様々な行政計画がある。そしてこうしたものに基づいて市が動いているという全体像が少しだけわかつたような気がする。みなさんが言われたように私自身の勉強になったが、まだわからないことも多く、暗闇からようやく夜明けを迎えたという感じである。 ・後期基本計画の期間が終われば、検証を経て、5、6年後に新たな計画が策定されると思うが、その時には、多くの人の意見を取り入れて、今以上に市が良くなるような計画を作りたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間お世話になつたが、毎回非常にボリュームが多く、駆け足の審議だったので、十分にポイントを突いた発言ができず、御迷惑をかけたと思う。答申にもあるように、市民の総合計画に対する認知度も低いので、民間においても市民のみなさんにこんな立派な計画があり、日々役所でもその実現に向けて、頑張っているということを知ってもらふよう努力していきたい。 ・それと余計なことになるが、前期基本計画から総合計画をみているが、よく言えば質実剛健、手堅い内容で、來住市長らしい

<p>委員</p>	<p>計画であると思う。それだけに大阪市のように目に見えるよう市長が指示して、すぐに取り組む、というものではない。計画の実現には金の出費が伴い、形になるまでは時間がかかると思うので、来住市長においては計画を策定するだけでなく、もう少し形が見える頃まで頑張っていたいただきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員として西脇市のことをよく勉強させていただいた。私も行政職員の一人であるが、行政職員は計画を策定するときには、その策定に全力を注ぎ、策定が完了してしまうと安心する傾向がある。ぜひこれをバイブルとして、よい西脇市づくりに頑張っていたいただきたい。 あわせて、この計画は西脇市役所の計画ではなく、西脇市の計画なので、市民一人ひとりに計画の内容を知ってもらうことが大事である。今、多くの方が計画を知っていないという話も出ていたが、わかりやすく、広報に連載するなど市民のみなさんが理解して、行動につながるよう、市と市民が協働して西脇市づくりに努めていただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長い期間委員の皆様には御苦勞をおかけした。委員であるが副市長の立場で御礼を申し上げる。委員には担当課長等とのやり取りをしていただいたが、みなさん優しく、厳しくシビアな意見を期待していたが、質疑が一回の応答で終わってしまったことが多かった。行政は市民のみなさんから厳しい指摘をいただくことで良くなると思う。 最近、行政の推進は非常に難しくなっており、また専門的にもなってきたと感じている。こうした中、私どもが大事にしたいのは市民目線、適当な言葉ではないかもしれないが、素人の意見であり、それが正鵠を得ているケースが多くある。長い間、役所にいると、役所の考え方が百点で、それを前提にした意見を言うことが多い。研修で新任職員に、市に入るまでに市役所がおかしいと思ったことはどこであるかと聞くが、ある職員、市役所の職員はみんな向かい合って座っている、ということを行った。ファーストフードでアルバイトをしていた時にはお客様の方を向いて仕事をしていた、ということを知り、窓口ではカウンターの方を向いて座るように指示し、現在はそうするようになってきている。役所生活にどっぷり浸かってしまった我々の視線ではなく、市民が感じられる視線を大事に、率直な意見を聞かせていただくことが大切であるということを経験を通じてあらためて感じた。新年度からは、この計画に基づき、積極的な施策の展開をしていきたいと考えている。 副会長ということで務めさせていただいたが、何の役にも立てなかった。私は自治会長を務めて8年になるが、自治会だけで
<p>副会長</p>	

会長

- なく、こういった組織でもやはりリーダーによって、組織はかなり異なってくると感じている。そうした意味で、この総合計画審議会では中川先生に素晴らしいリーダーシップを発揮していただき、取りまとめていただいたことに感謝申し上げます。
- ・私は個別の審議会にはほとんど参加しており、その内容はわかっているつもりだが、ここに来るとまた違った意見が出てくるので自分の勉強にもなった。
 - ・以上で委員のみなさんの御意見をいただいたが、私も一人の委員として感想を申し上げます。副会長からは身に余るお褒めの言葉をいただき、身が引き締まる思いであるが、決して私のリーダーシップが上手く発揮できたとは思ってはいない。みなさんの生活感あふれる率直な発言が、この計画を実りのあるものにしたと思っている。
 - ・今回は後期基本計画ということであったが、基本構想・前期基本計画を策定した時には、かなりの文化的なギャップを役所の人たちとの間で実感したのが事実である。総合計画は作れば安楽死という時代があった。つまり、作るまでは必死で、作ってしまうともういい、ということで、それはなぜかという計画に拘束力がないからであり、そのとおりに実施しなくても仕方がないためであった。高度経済成長期など成長が著しい時代には計画との誤差も激しく、そのことは仕方がなかった。しかし今日のような安定成長で、時代のすう勢がわかっている時代には、もっと拘束力のある計画でないとおかしいし、そのことは前期基本計画を策定するときにも確認を行った。各部局の長に審議会の場に来ていただき、本当に実現可能な数値目標を示してほしいということで議論したことを覚えている。前期基本計画期間の終わりに近づき、相当程度、目標管理型の行政にシフトしつつあるのではないかと考えている。
 - ・一方で、総合計画についての市民の認知率はかなり低いという話がある。しかし、そのことは策定してすぐに安楽死という時代が長い期間続いていた名残ではないかと思う。これからは市民にも総合計画には、こういったことが書いてあるのかという確認をしていただければと思う。今回の計画の特色は、前期基本計画に引き続き、「まちづくり指標」という形で目標数値を掲げており、その達成度について業績評価として反映するような仕組みを作ったことである。目標とする方向性どおりに進まないのであれば、それなりの説明責任が問われる厳しい緊張感を持った計画であるといえる。もう1つは、行政に責任を被せるだけでなく、市民にも期待される役割がきちんと書かれており、これは従来の行政計画的な総合計画ではなく、それを一歩

踏み越えて、市民自治・住民自治を踏まえた団体自治はどうあるべきかという対応関係を整理したものである。住民側・市民側も自らの市民自治の領域において、どのような努力をすべきかを明確にしている。最近の総合計画の先進的モデルともいえるもので、それを提示しているのが西脇市の計画であると私は評価したい。

- ・長々と申し上げたが、以上で本日の審議会を終了する。